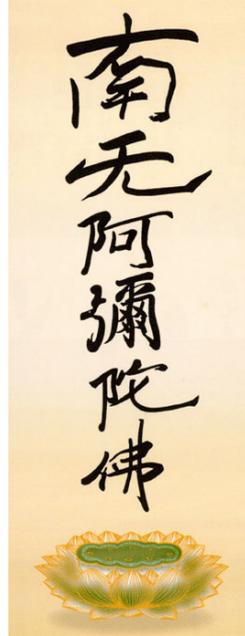




「南無阿弥陀仏のお念仏が

どうしても言えません」



(右は親鸞聖人の書かれたお名号です。)

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますます
すぐ清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存
じます。

さて、標題は、昨年あるご門徒さんのお宅
にお参りしたときに、そのお家の奥様から言
われた言葉です。最近はお寺からお念仏が
聞こえなくなつたと言われて久しいです。
以前にも書きましたが、100年前の650回大遠忌
の時には、ご本山の職員が「お説教が聞こえ
ないのでお念仏をやめてください！」と叫ん
だという話が残っているのに、今はご本山で
も「ご一緒にお念仏を申しませう。」と職員

の方が合図をされないとなかなかお念仏が
出ないのが実情です。

ご門徒さんのお宅に、ご法事や月参りでお
参りさせていただいても、お念仏を申させて
いただいているのは私一人(つまり坊さんだ
け)ということが珍しくありません。いつた
いこのお念仏というのはなんなんでしょう
か。どういふときにお念仏して、お念仏をす
るとどうなるのでしょうか。ちよつとその
あたりを今日は考えてみたいと思います。

みなさんも歴史を学んだときに、浄土真宗
は「念仏を称えるだけで救われる」という教
えだということを聞かれたことがあると思
います。しかし、このことは大きな誤解も生
みました。お念仏が条件になつてしまつて
いるのです。ご門主様は著書の中でこう述
べておられます。「念仏を称える身になつて
救われる」と。この違いはなんでしょうか。

法蔵菩薩はすべての衆生(私たち)を救わ
んがためにと長い長い間(五劫)考え抜かれ
たのちに四十八の誓願(本願)を立てられて、
さらに長い間のご修行を経て浄土を建立さ
れ、阿弥陀仏となられました。そしてそのお
名前は南無阿弥陀仏の名号として今、私に届
いているのです。ですから、私の口から出た
ナンマンダブのお念仏は、阿弥陀仏そのもの
であり、それはそのまま、「まかせよ!必ず救
う!」という働きそのものなのです。

だから、お念仏が言えないからといって、
阿弥陀さまの願いが届いていないわけでは
ありません。十方衆生(生きとし生けるもの
すべて)に願いは確かに届いているのですか
ら。あと私たちにできることは阿弥陀如来
のおいわれを聞かせていただき(聴聞し)、ご
本願を疑いなく信じる身にさせていただく
ばかりなのです。そうなつた私はすでに念
仏を称える身になつて救われているのです。

とはいふものの、疑いなく信じることはな
かなかできないのが私たちです。今の世の
中、疑われないといけないことばかりです。下
手に誰でも信じると、まんまと騙されたりし
ますからね。お経の中にも難中之難無過斯
(難中の難これに過ぎたるはなし)と書かれ
ています。このことは、蓋をした瓶には水が
入らないという例えから「疑蓋」と言われて
います。それほど昔から難しかったという
ことでしょう。

これまでのことを超簡単に示せば、
本願 ↓ 名号 ↓ 信心 ↓ 称名

ということになると思います。ですから、み
なさんが最もよく耳にされる聖人一流章の
御文章にも「そのうへの称名念仏は、如来わ
が往生を定めたまひし御恩報尽の念仏とこ
ころうべきなり」とお示しのとおり、阿弥陀
さまのご本願を疑いなく信じ(信心)、そのご

恩に感謝するお念仏であるはずなのです。

念仏は決して条件でも呪文でもまじないでもありません。念仏さえしておけばなんとかなるというものでもありません。なんともならないことというのはこの世に山ほどあるのです。それがなんとかなるといふ宗教は、本当の宗教と言えるでしょうか。本当の救いとは、願いがかなったり病気が治ったりすることではありません。山ほど悩み苦しみを抱えながら、生き抜いてゆく確かな道を恵まれることです。

「お念仏がなかなか口から出てこない」という方は、月参りの仏説阿弥陀経のあとのお念仏（ナーマーンダーブ）のときに一緒に口ずさんでみてはいかがですか？慣れてくると普通にお念仏申すことができると思いますよ。そしてそれはいつか必ず、御恩報謝の念仏になっていくはずですから。

「彼岸会のご案内」

日	10時〜	14時〜	19時〜
21日 (月)		速夜 仏説 観無量寿経 法話二席	

勝山市明覚寺住職
本願寺布教使

伊藤 貴彦 師です。

一昨年より、春の彼岸会を厳修させていた
だき、今年で3年目となりました。このまま
西光寺の法座のひとつとして定着するよう、
みなさんぜひお参りください。連休の最終
日にはありますが、お勤めの方にも来ていた
だきやすいと思います。ご講師には、新進
気鋭の若手布教使の伊藤先生をお願いしま
した。なんと25歳のイケメンです。法話は
一人ではできません。ご講師からご教化を
いただき、私（みなさんお一人お一人）がお
育ていただくとともに、お聴聞のみなさんの
姿勢がまた布教使をお育ていただくのです。
若い彼が精一杯、如来さまのお取り次ぎをさ
れますから、一人でも多くの方の参詣をお待
ちしています。

「大遠忌参拝締め切り迫る！」

6月14日（火）〜15日（水）に行われる阪
北組の本願寺への団体参拝の申し込みの締
め切りが近づいてきました。しかし、西光寺
のご門徒の参加状況はまだまだと言わざる
を得ません。何度も申しますが、「みなさん
！次の80回大遠忌のご縁には遇えません
よ！」ほとんどの方には、最初で最後のご縁
です。今年ご本山にお参りせずに、いつお参
りするんですか！というわけで、心よりご連
絡お待ちしております。寺からも猫を除き
全員（住職・坊守・若院）がお参りさせてい

たきます。ぜひ一緒に参拝しましょう！

「編集後記」

先日のクローズアップ現代「岐路に立つお
寺」をご覧になった方はいらつしやるでしょ
うか。なんとなく想像してはいましたが、あ
るアンケートのあまりの結果に驚かざるを
得ませんでした。

次のことに対して、好ましく思っている人
の割合。

- 仏教……90%
- お寺……25%
- 僧侶……10%

西光寺ではこのような結果にならないよ
う、ご門徒との関係を密にしていきたいと
思っています。どんなことでもお気軽にお
聞きください。何でもご相談ください。
お寺はみなさん（ご門徒）のものなので
から。

- 住職 内嶋洪淳（うちじま こうじゅん）
090-8261-3090
- 若院 内嶋淳浩（うちじま あつひろ）
090-8967-7902
- メールアドレス
soichiro4989@gmail.com